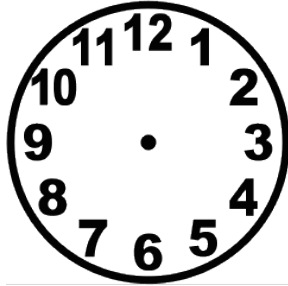


アナログ時計で数当てあそび

青森・野呂茂樹

アナログ式の時計の文字盤には1～12の数字が書かれています。

その数字を利用して数当てなどであそびをしましょう。



(その1)

「私は、向かい合った2つの時刻を選びました。その2つの数の和は12です。選んだ時刻は何時と何時でしょうか？」(答え: 3時と9時です)

他のペアではどうでしょうか?
ペアの数の合計は、**8, 10, 12, 14, 16, 18**の6通りです。

(その2)

「向かい合った2つの時刻を選んでください。その時刻の数の、大きい方から小さい方を引いてください」「6ですね」

向かい合った時刻では、2つの数の差はいつでも**6**です。

(その3)

20枚のカード(小さな物品・例えば、おはじき、マッチ棒、カードなど。数は相手に教えない)を相手に渡します。

「カード、を2つの山に分けてください」
「枚数の多い方の山を持って、文字盤の**7時**から逆回り(左回り)に置いていってください」「最後のカードが置かれた時刻を見ると5時ですね」「残ったカードは5枚です。数えてください。5枚ですね」

相手に渡すカードは**13～26**枚がいいでしょう。相手が一方の山のカードを1枚

ずつ文字盤に置いていくとき、最初の1枚を置く時刻は**”相手に渡した枚数-13”**時です。すると、最後のカードが置かれた時刻の数と相手の手元に残ったカードの枚数は一致します。

(その4)

「1つの時刻を選んでください(例: 7時)」「その時刻の英語のスペルの文字数を覚えてください(7⇒SEVEN⇒5文字)

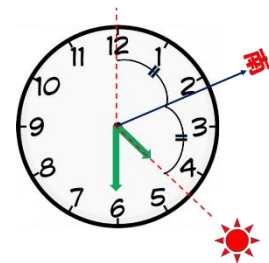
「12時からその数だけ時計回りに進んでください(5時)」「到達した時刻の英語のスペルの文字数(5時⇒FIVE⇒4文字)だけさらに進んでください(9時)」「もう一度、今到達した時刻の英語のスペルの文字数(9時⇒NINE⇒4文字)だけさらに進んでください」「**1時だよ、全員集合!**」必ず、**1時に到達します。**

- 1 ⇒ ONE (3) 2 ⇒ TWO (3) 3 ⇒ THREE (5)
- 4 ⇒ FOUR (4) 5 ⇒ FIVE (4) 6 ⇒ SIX (3)
- 7 ⇒ SEVEN (5) 8 ⇒ EIGHT (5)
- 9 ⇒ NINE (4) 10 ⇒ TEN (3) 11 ⇒ ELEVEN (6)
- 12 ⇒ TWELVE (6)

(その5)

「時計の短針を太陽の方向へ向けてください」「短針と12時のなす角の半分の方角がおおよその真南です」

季節による誤差はありますが、おおよその方位を知ることができます。



* 動画

<https://youtu.be/F1vHiH024og>